

令和5年度 第2回金山駅周辺まちづくり推進会議

日時：令和5年12月11日(月)10時30分～11時

場所：本庁舎2階 特別会議室

○開 会

○議 題

- ・第1回金山駅周辺まちづくり推進会議からの検討状況 資料1
- ・金山駅周辺まちづくりの推進について【新たな劇場の整備関連】 資料2
- ・金山駅周辺におけるまちづくりと連携した文化芸術施策の展開について 資料3
- ・その他 資料4

○参考資料

- ・配席図

R5.12.11 令和5年度 第2回 金山駅周辺まちづくり推進会議 名簿

会長

役職	氏名	出欠
副市長	中田 英雄	出席

副会長

役職	氏名	出欠
副市長	杉野 みどり	出席
副市長	松雄 俊憲	出席(WEB)

委員

役職	氏名	出欠	代理出席者		備考
			役職	氏名	
防災危機管理局長	酒井 雄一	出席			
総務局長	杉浦 弘昌	欠席	企画調整監	武田 淳	
財政局長	太田 宜邦	欠席	参事	柘植 修	
観光文化交流局長	佐治 独歩	出席			
環境局長	小林 靖弘	出席			
健康福祉局長	平松 修	出席			
住宅都市局長	日下 雄介	出席			
緑政土木局長	河田 誠一	出席			
上下水道局長	横地 玉和	欠席	技術本部 計画部長	川合 正恭	
交通局長	折戸 秀郷	出席			
中区長	平田 一之	出席			

事務局

観光文化交流局 文化歴史まちづくり部 文化芸術推進課 住宅都市局 都市整備部 まちづくり企画課
--

新たな劇場の整備とまちづくりの関係

新たな劇場が金山まちづくりの「核」となるとともに、にぎわいと感性あふれる交流創造の場となること、さらにはウォーカブルなまちづくりを実現させる観点から、『新たな劇場の基本構想(R4.2)』に示されている『**開かれた劇場**』の実現とまちづくりの融合を目指す。
『開かれた劇場』実現のため、新たな劇場の施設計画では下記事項に留意し、「劇場の機能性向上」と共に「まちと劇場との関係」に配慮した施設計画を目指す。

新たな劇場の事業区域の設定

- 市民会館街区と古沢公園街区を1街区化することにより、新たな劇場と公園による魅力あふれる空間を形成する

新たな劇場の整備

- 施設の配置を計画するにあたっては、公園に対して建物の圧迫感や日照等に配慮する
- 「開かれた劇場」として「いつでも、誰でも、何かを経験できる」文化芸術交流拠点となるよう、来訪者が気軽に訪れることができる施設を目指す
- 新たな劇場の3つのホールの内、**第3ホールをアスナル金山エリアに分散整備し、新たな劇場を中核とした文化芸術の集積地の形成と集客性向上を目指す**
- 地区再整備の中で、**文化芸術活動が可能な広場等やエリマネと連携したにぎわいの創出を図る**
- 自主事業を通じ、施設や地域団体等と連携した施策展開をし、地域周辺への文化芸術の浸透を図る**

古沢公園・市民会館エリア

公園・駐車場

- 地域の公園としての機能を維持しつつ、**開かれた劇場との一体感のある魅力的な公園整備や古沢公園駐車場の利活用について検討する**

自動車の出入口

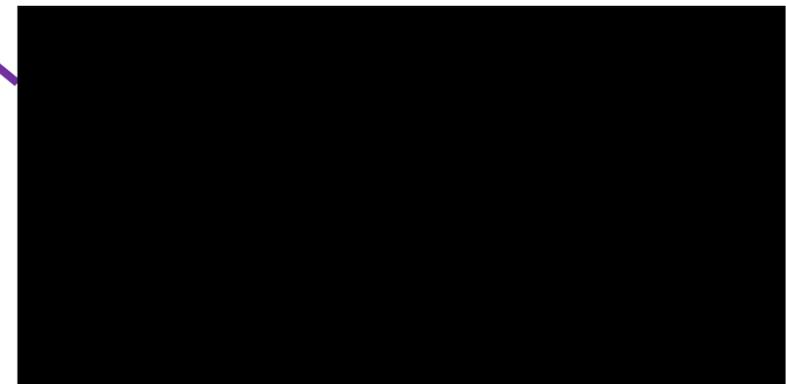
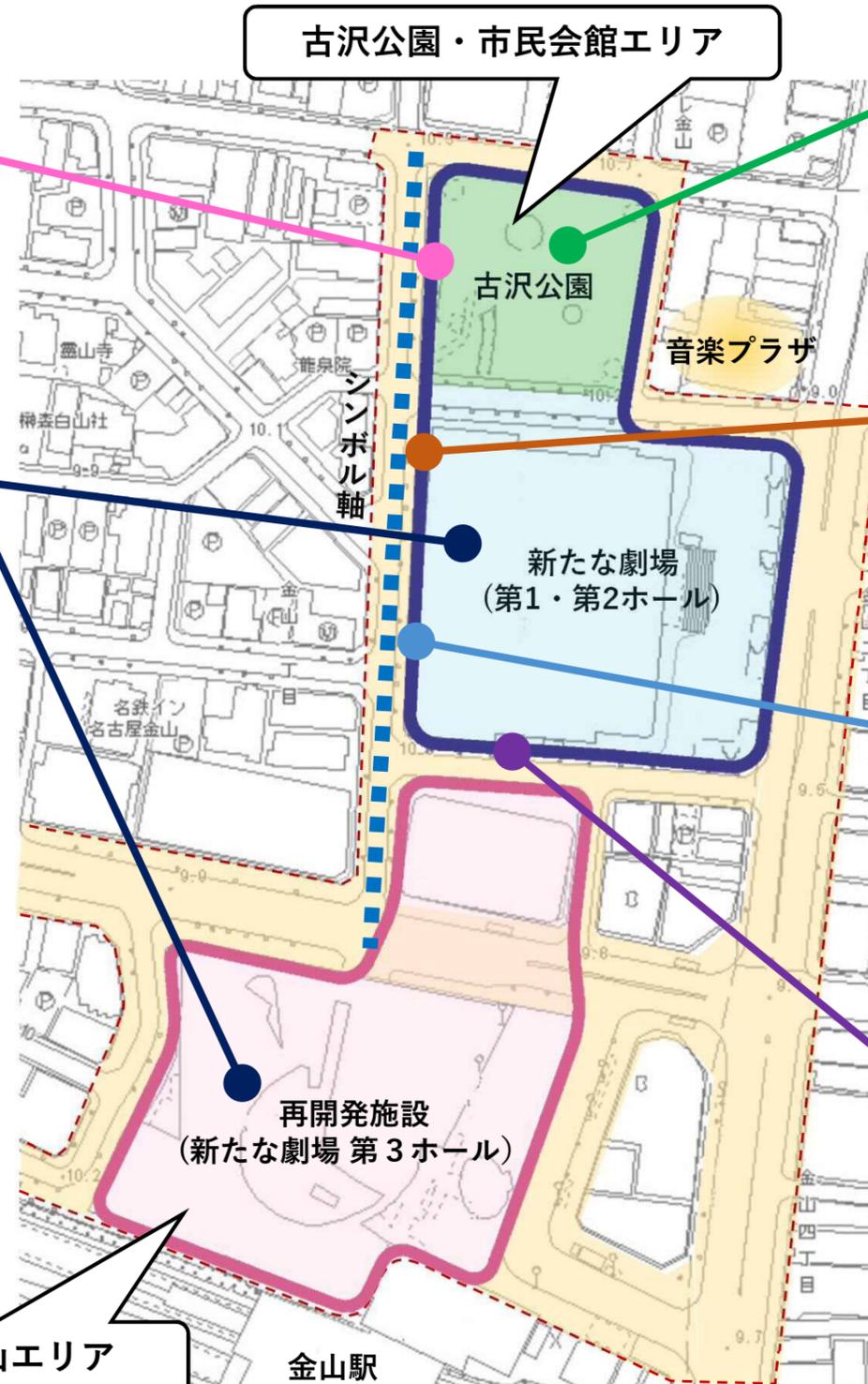
- シンボル軸の歩行者動線に配慮し、**新たな劇場の事業区域西側は自動車出入口を設置しないよう配慮する**

シンボル軸との接続(歩行者動線)

- 歩行者のシンボル軸として再編することを踏まえて、**新たな劇場へのアプローチ設置とストリートに面して、にぎわい施設の導入や回遊性に寄与する施設の配置を目指す**

アスナル金山エリア

金山駅



1 文化芸術施策とまちづくりの関係

○文化芸術推進計画2025

「文化芸術を活かしたまちづくり」「観光・産業との好循環」をめざし、次の取組みを掲げる

<取組み>

- ・まちなかでの文化芸術活動の推進
(名古屋版アーツカウンシルとの連携等)
- ・金山駅地区などのまちづくりにおける広場や公共的な空間の創出・活用
- ・芸術家などが集まる場づくり
- ・金山南ビル美術館棟の利活用による文化芸術の推進や金山地区のにぎわいづくり、観光推進

○新たな劇場の基本構想

「新たな劇場の整備（市民会館の改築）と文化施設の有機的連携」を掲げており、文化芸術の裾野拡大（劇場文化の浸透）をめざす

2 金山地区の文化芸術施設の課題

- ・金山南ビル美術館棟（旧ボストン美術館）の本格的な利活用ができていない
- ・駅周辺に文化芸術施設（市民会館、音楽プラザ、アスナル金山、金山南ビル）が集積しているにも関わらず、施設間の連携や一体的な取組みが不十分

3 金山駅地区における文化芸術施策実現に向けて

施策実現と課題解決に向けて、新たな劇場と金山南ビルの中に位置し、市内有数の交通結節点の金山総合駅至近での文化施設の配置及び面的・一体的な施策展開が有効と捉え、次の取組みを検討する

- ・新たな劇場の1ホールをアスナル金山エリアの再開発施設に分散整備し、新たな劇場を中核とした文化芸術の集積地の形成及び集客性を向上
- ・自主事業を通じて施設や地域団体等と連携した施策展開をし、地区周辺への文化芸術の浸透
- ・地区再整備の中で、文化芸術活動が可能な広場等やエリマネと連携したにぎわいの創出



4 自主事業による施策展開イメージ

<劇場施設等の連携>

- ・古沢公園・市民会館エリアとアスナル金山エリアの各ホール及び音楽プラザが連携するイベント

<金山南ビル美術館棟との連携>

- ・金山南ビル美術館棟の展示内容と関連性が高いイベントの第3ホールでの開催
- ※金山南ビル美術館棟の利活用の中でも検討

<金山駅周辺の文化芸術施設の連携>

- ・新たな劇場、再開発施設、音楽プラザ、金山南ビル美術館棟が連携する文化芸術イベント

<再開発施設との施設間連携>

- ・再開発施設の広場・商業施設と連携するイベントや広報等

<広場等を活用した文化芸術活動>

- ・金山駅周辺の広場・オープンスペース等を活用するイベント

5 再開発施設に整備するホール

施策展開イメージを実現するため、再開発施設に整備するホールは、音楽、舞台芸術のほか、展示やショーなど幅広く対応できる第3ホール(平土間)とする

第1回シンポジウム

日時：2023年9月7日（木）15時～17時
場所：都市センター11階ホール

1. 講演【北山 孝雄氏】（株式会社 北山創造研究所代表）

～アスナル金山に込められた想いと今後のまちづくりに向けて～

【名物、名所づくり】
雇用が生まれ、**まちや人が元気になる仕掛けづくり**

【あの手、この手】
合理性・効率性の追求 ×

人口減少、消費減 → **時代の変化に対応**できるような再開発
ここに来れば何か仕事が入る、自分の技が磨ける、そんな場所に
文化芸術、エンターテインメント等、
新しい産業を育てるようなまちづくり

【夢と希望の聖地】
24時間生きている自由な場
10年、20年先の新しい芽生えに投資
世界の名所になるような新しい開発



2. パネルディスカッション

～アスナル金山がもたらしたものとは～

- ・駅一体の**界隈性**、**祝祭空間**を満たした文化を発信
- ・**名駅**、**栄**にはない独特なにぎわい空間
- ・**若者や庶民にも優しい**ライフセンター
- ・デザイン性のある**劇場的な空間**、**路地性**のある空間をまとめたことによる**にぎわいエネルギー**
- ・いつも何か行われている意味深い場所
- ・駅周辺で**滞留**できる場が格段に増加
- ・大人だけではなく**子供も楽しめる**空間

～今後の金山まちづくりにどう継承するのか～

- ・アスナルがもたらしている、**誰かが自然に集まる**ぶらぶらできるまち
- ・駅の南北を行き来できる**分断のない**まち
- ・イベントの前後にまちを歩くと**楽しめる何か発見がある**仕組み
- ・リアリティにこだわり**交流の場**を創出
- ・**広場を中心に人を寄せ付ける**ような仕掛け・場づくり
- ・単なるオープンスペースではなく、**アート等を掛け合わせて新しいものを生み出す**

- 【パネリスト】
- 福島 茂氏
名城大学都市情報学部 教授
 - 佐藤 友美氏
クリエイティブ・リンク・ナゴヤディレクター
 - 村田 洋一氏
株式会社北山創造研究所
 - 田中 良知氏
金山駅前まちそだて会 会長
- 【ファシリテーター】
- 井澤 知旦氏
名古屋学院大学名誉 教授



第2回シンポジウム

日時：2023年10月31日（火）15時～17時
場所：都市センター11階ホール

1. 講演【泉山 壘威氏】（日本大学理工学部建築学科 准教授）

～金山におけるエリアマネジメントの推進とまちづくりコンセプトの実現に向けて～

【これからのエリマネ】
ミレニアル世代以降の価値観とライフスタイルに対応した都市デザイン
整備の**ハードウェア**だけではなく、空間活用の**ソフトウェア**、
仕組みを持続する**オルグウェア**

【パブリックライフ・パブリックスペース】
まちなかでくつろげる**滞留空間**と**滞在時間**をもてる環境づくり
世代や属性を問わず、時間を変えて**様々な行動**ができる**空間・場所**
パブリックスペースを**目的地**として認識
エリマネ等による**道路・公園・広場の活用**

【金山での取り組み】
ハード、ソフト、オルグウェアで動き出す**ビジョンづくり**
パブリックスペースの役割分担や住み分け



2. パネルディスカッション

～文化芸術の拠点形成とそれを支えるまちの仕掛けづくり～

- 【ウォークابل】
・**公共空間は人が滞在、交流する場**として活用し、その**周辺の民地がにぎわい潤う相乗効果を期待**
- ・公共施設の中も豊かにしつつ、外と繋がる**ことがウォークアブルにおいて重要**
- 【金山のポテンシャルの活用】
・**文化芸術や音楽活動とオフィス機能の融合**を金山の**新しいアイデンティティ**に
- 【文化芸術への支援等】
・文化芸術を根付かせるためには、**稼ぐ仕組みが重要**
- ・公共空間を活用し、**今までない施策やルールづくり**
- ・**アーティストの育みが見える化**できる施設づくり
- ・床を低賃金で貸し、原状復帰しなくてよい空間を提供
- ・名古屋には**良きオーディエンス**が必要
- ・文化芸術のまちとして、**大学の共同キャンパス**を拠点に
- ・**「名フィルに会えるまち」**をコンセプトに
- 【ビジョンづくり】
・文化芸術のまちづくりを進めていく**エンジン**となる**公民の共有ビジョン**の作成が望ましい

- 【パネリスト】
- 加藤 義人氏
岐阜大学 客員教授
 - 桑原 宏司氏
チケットぴあ名古屋代表取締役社長
 - 佐藤 友美氏
クリエイティブ・リンク・ナゴヤディレクター
 - 田中 良知氏
金山駅前まちそだて会 会長
 - 泉山 壘威氏
日本大学理工学部建築学科 准教授
- 【ファシリテーター】
- 井澤 知旦氏
名古屋学院大学名誉 教授



金山駅周辺まちづくり シンポジウム

入場無料
(先着140名様)
事前申込制

人・文化・芸術
とともに育つまち

～にぎわいと感性あふれる交流創造の場づくり～

名古屋市では、金山駅周辺において市民会館の建替えやアスナル金山の再整備を核としたまちづくりに向けて、検討を進めています。

今後の事業化を見据え、名古屋市としてのまちづくりの考え方を皆様に知っていただくとともに、有識者のご意見を伺い、関心を高めていただく場としてシンポジウムを開催します。



2023年

日時

9/7 [木] 15:00～17:00 (14:30開場)

会場

名古屋都市センター11階ホール

中区金山町1-1-1(金山南ビル内)

主催/名古屋市 共催/公益財団法人名古屋まちづくり公社

問い合わせ先:住宅都市局都市整備部まちづくり企画課 TEL(052)972-2739

金山駅北地区再整備を契機としたまちづくりについて

1. イントロ

まちの改編に向けた基本的な考え方(名古屋市住宅都市局)

2. 講演

「アスナル金山に込められた想いと今後のまちづくりに向けて」



講演者

北山 孝雄 氏

株式会社北山創造研究所代表

どんな生活を実現したいかを発想の原点に、人を軸にしたまちづくり、くらしづくりを手掛ける。代表的なプロジェクトに亀戸サンストリート、アスナル金山、しんまちボードウォーク、日本橋まちづくり、東急ハンズトラックマーケット、両国駅広小路、肥後銀行本店、群馬県草津温泉「湯畑」及び「裏草津」再生計画。

主な著書に「まちづくりの知恵と作法」[24365東京]「このまちにくらしたい うずるまち」[草津温泉再興の記録]。「2007毎日デザイン賞」受賞。

平成15年に実施した「金山北地区開発提案競技」にて、株式会社北山創造研究所を代表とするグループが最優秀提案として選定され、その後事業化。平成17年3月に「アスナル金山」として開業。

3. パネルディスカッション

テーマ

- アスナル金山がもたらしたものは
- 今後の金山まちづくりにどう継承するのか

ファシリテーター

井澤 知旦 氏(名古屋学院大学名誉教授)

パネリスト

福島 茂 氏

名城大学都市情報学部 教授



専門は都市計画・地域計画・住宅政策。グローバル化のもとでのアジアの居住変動、国際ビジネスセンター開発戦略、持続可能な都市・地域計画、ポストコロナの新しい働き方と地域活性化などについて研究している。プータンの国土計画策定支援からローカルレベルでのまちづくりまで広い射程で国土・地域・都市・地区の課題に関わる。名古屋市の都市計画マスタープラン、集約連携まちづくりプラン、住生活基本計画などの立案にも参画。

パネリスト

佐藤 友美 氏

クリエイティブ・リンク・ナゴヤ ディレクター



2022年10月に名古屋市が設置した、文化芸術活動や団体・アーティストの支援等を行う組織であるクリエイティブ・リンク・ナゴヤの理事兼ディレクター、名古屋市文化芸術施策に関する懇談会委員。名古屋市出身。中日新聞社事業局で、文化事業の企画運営や、文化団体や市民団体などとの連携事業に携わる。その後トヨタ自動車で社会貢献活動やCSR活動に従事し、トヨタ博物館副館長やトヨタボランティアセンター長などを務めた。

パネリスト

村田 洋一 氏

株式会社北山創造研究所



1981年東京生まれ。2005年多摩美術大学卒業後、Earthscape inc.を経てを経て08年より北山創造研究所に所属。北山創造研究所での担当プロジェクトに「草津温泉まちづくり」「浜松市 新川モール基本構想」「牛久沼感幸地構想」「那須塩原駅周辺まちづくり構想」など。現在、北山創造研究所ディレクター、多摩美術大学非常勤講師

パネリスト

田中 良知 氏

金山駅前まちそだて会 会長



1998年、家業である日本茶専門店「株式会社妙香園」に入社。2020年創業105年を迎える年に代表取締役役に就任。伝統とは挑戦の連続を持って創るものと考え、暖簾にあぐらをかくことなく新たな取り組みを続ける。2021年「金山駅前まちそだて会」が発足し初代会長を務める。毎日数十万人が乗降する金山駅のポテンシャルを活かし、金山駅前地域を名古屋の玄関口とし、様々な魅力を発信することで「交通拠点」から「交流拠点」へと進化させる活動をしている。

申込みはこちらから

申し込み完了後にお送りする自動返信メールを当日入場の際にご確認させていただきますのでご用意ください。

URL <https://logoform.jp/form/mX9C/97>



申込みフォーム

会場アクセス住所:中区金山町1-1-1(金山南ビル内)



新型コロナウイルス感染症に係る注意事項

- 感染拡大防止のため、手洗いや換気などの基本的な感染対策を徹底してください。
- 開催当日に発熱等の症状がある場合や感染陽性者または感染が疑われる人との濃厚接触がある場合は、ご参加をご遠慮ください。

第2回

金山駅周辺まちづくり シンポジウム

入場無料
(先着140名様)
事前申込制

まちづくりコンセプト

人・文化・芸術

とともに育つまち

～にぎわいと感性あふれる交流創造の場づくり～

名古屋市では、金山駅周辺において市民会館の建替えやアスナル金山の再整備を核としたまちづくりに向けて、検討を進めています。

今後の事業化を見据え、有識者のご意見を伺い、地域の皆様の関心を高めていただく場としてシンポジウムを開催します。



2023年

日時

10/31 [火] 15:00～17:00 (14:30開場)

会場

名古屋都市センター11階ホール

中区金山町1-1-1(金山南ビル内)

主催/名古屋市 共催/公益財団法人名古屋まちづくり公社

問い合わせ先:住宅都市局都市整備部まちづくり企画課 TEL(052)972-2739

金山駅北地区再整備を契機としたまちづくりについて

1. イントロ 第1回シンポジウムのおさらい(名古屋市住宅都市局)

2. 講演 金山におけるエリアマネジメントの推進とまちづくりコンセプトの実現に向けて



(Photo by kazue kawase)

講演者

泉山 聖威氏

日本大学理工学部建築学科准教授/一般社団法人ソトノバ共同代表理事

専門は、都市計画・都市デザイン。都市経営、エリアマネジメント、パブリックスペース、タクティカル・アーバンイズムやプレイスメイキング、ウォークアブルシティなどの研究・実践・メディア運営に関わる。

主な著書「タクティカル・アーバンイズム: 小さなアクションから都市を大きく変える」(編著、学芸出版社)、「エリアマネジメント・ケースメソッド」(編著、学芸出版社)など。

主な受賞 Area Management Research Award 2023、2022 受賞/グッドデザイン賞2021W 受賞/マチミチコンペ in大宮ウォークアブルシティ 入賞など。

3. パネルディスカッション

テーマ

文化芸術の拠点形成とそれを支えるまちの仕掛けづくり

ファシリテーター 井澤 知旦氏(名古屋学院大学名誉教授)

パネリスト

泉山 聖威氏

日本大学理工学部建築学科准教授

パネリスト

加藤 義人氏

岐阜大学客員教授



野村総合研究所、三菱UFJリサーチ&コンサルティングでシンクタンク活動に従事。専門分野は社会資本政策、公共経営。東京一極集中により日本の国土は高コスト構造を強いられており、国際競争力を再浮上させていくためには、諸機能が東京以外の立地選択を可能とする国土を目指すべきと考えている。コロナ禍を契機に通信が移動を補完する時代となり、リニア開業後は名古屋が一極集中是正の受け皿となるべきとの持論を東海創生コラムで展開。

パネリスト

桑原 宏司氏

チケットぴあ名古屋代表取締役社長



1976年有限会社サンデーフォークプロモーション入社。同社専務取締役、代表取締役社長を歴任。2000年よりチケットぴあ名古屋株式会社代表取締役社長。また、株式会社サンデーフォークプロモーション相談役を務める。コンサートプロモーターやライブハウスの運営、ラジオ制作に長年携わり、アスナル金山では開業当初より音楽イベント等の企画・運営に尽力。

パネリスト

佐藤 友美氏

クリエイティブ・リンク・ナゴヤ ディレクター



2022年10月に名古屋市が設置した、文化芸術活動や団体・アーティストの支援等を行う組織であるクリエイティブ・リンク・ナゴヤの理事兼ディレクター、名古屋市文化芸術施策に関する懇談会委員。

名古屋市出身。中日新聞社事業局で、文化事業の企画運営や、文化団体や市民団体などとの連携事業に携わる。その後トヨタ自動車で社会貢献活動や CSR活動に従事し、トヨタ博物館副館長やトヨタボランティアセンター長などを務めた。

パネリスト

田中 良知氏

金山駅前まちそだて会 会長



1998年、家業である日本茶専門店「株式会社妙香園」に入社。

2020年創業105年を迎える年に代表取締役役に就任。

伝統とは挑戦の連続を持って創るものと考え、腰簾にあぐらをかくことなく新たな取り組みをし続ける。

2021年「金山駅前まちそだて会」が発足し初代会長を務める。毎日数十万人が乗降する金山駅のポテンシャルを活かし、金山駅前地域を名古屋の玄関口とし、様々な魅力を発信することで「交通拠点」から「交流拠点」へと進化させる活動をしている。

申込みはこちらから

申し込み完了後にお送りする自動返信メールを当日入場の際にご確認させていただきますのでご用意ください。

URL <https://logoform.jp/form/mX9C/1031>

新型コロナウイルス感染症に係る注意事項

- 感染拡大防止のため、手洗いなどの基本的な感染対策を徹底してください。
- 開催当日に発熱等の症状がある場合や感染陽性者または感染が疑われる人との濃厚接触がある場合は、ご参加をご遠慮ください。



申込みフォーム

会場アクセス住所:中区金山町1-1-1(金山南ビル内)



※金山総合駅南口すぐ 公共交通機関をご利用ください。

第2回金山駅周辺まちづくり推進会議 座席表

日時：令和5年12月11日(月) 10時30分～11時

場所：本庁舎2階 特別会議室 (WEBとのハイブリッド開催)

